

Title	演劇学論叢 第12号 表紙
Author(s)	
Citation	演劇学論叢. 2012, 12
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/97443">https://hdl.handle.net/11094/97443</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

2012.7  
第12号

# 演劇学論叢

---

■巻頭言

付き合いのエクササイズ……………永田 靖 (1)  
—2011年演劇学研究室のグローバル化—

■論文

能楽の近代化と池内信嘉……………中尾 薫 (7)  
—能楽の改良し得らるゝや否や—

伝統の中にあるリアリズム……………栢井 智英 (24)  
—前進座、中村翫右衛門のリアリズム論—

日本占領期における「円形劇場」の試み……須川 渡 (45)  
—CIEによる普及活動を手がかりに—

狂言における

「地謡」の変遷(その二)……………戸田健太郎 (67)  
—初期台本から現行台本への変化とその意味するものをめぐって—

アジアのインターカルチュラル上演

『デスデモーナ』の諸問題……………岡田 路子 (92)  
—戯曲と演出の対照研究を通じて—

■観劇実習レポート……………(120)

■研究室の窓……………(129)

---

# 演劇学論叢

大阪大学大学院文学研究科演劇学研究室